

平成25年度第4回宇都宮市河内自治会議録

1 日 時 平成25年7月30日(火) 午後1時30分～午後4時30分

2 場 所 河内地域自治センター 第1・2会議室

3 出席者

【委員】 杉原弘修委員(会長), 川上幸子委員(副会長), 大谷津健敏委員, 君島京子委員, 小森光晴委員, 櫻井基一郎委員, 関口啓子委員, 多田出芳子委員, 永井寛委員, 中澤敏美委員, 中村房夫委員, 船橋あけみ委員, 宗像茂委員, 森由利子委員, 山田ちい子委員, 山田祐子委員, 若林知委員
計17名

【事務局】 地域まちづくり担当参事, 河内地域自治センター所長, 地域自治制度担当副参事, 地域経営課長, 他5名
計9名

4 会議の公開・非公開 公開

5 傍聴者数 なし

6 会議経過

(1) 開会

・本日の会議の出席者数は17名, 小野章委員・加藤幸雄委員・我妻勝次委員が欠席。委員数の過半数に達しているため, 会議が成立することを事務局から報告。

(2) 協議事項

①合併市町村基本計画の執行状況について

答申書(案)の協議

・資料1の答申書(案)に基づき, 協議した。

発言者	発言内容
会 長	前半は, 合併市町村基本計画の執行状況についての全体協議を行う。後半は, 地域まちづくりに関する施策の提案についてグループ協議を行う。事務局から答申書(案)について説明をお願いします。
事務局	資料1を説明
会 長	答申書(案)について意見はあるか。
委 員	(全員意見なし)
会 長	答申書(案)を最終的な答申書として確定する。答申書は8月28日に正副会長が市長へ提出する。市長への答申後, 答申書の写しを委員に郵送する。

②地域まちづくりに関する施策の提案について

課題の抽出(グループ協議)

発言者	発言内容
会 長	地域まちづくりに関する施策の提案 についてグループ協議を行う。事務局から説明をお願いします。
事務局	資料2を説明
会 長	資料2について意見はあるか。
委 員	(意見なし)
会 長	資料3の説明を事務局にお願いします。
事務局	資料3を説明
会 長	資料3について意見はあるか。

委員	前回のグループ協議で、発表したものからトータルに整理して課題を抽出することは理解できた。課題を抽出する際に裏づけとなる参考資料は用意してあるのか。
会長	参考資料が一部用意できない場合もある。参考資料が無いために課題抽出できない場合があることも含めて協議をしていただきたい。
委員	交通の便が悪い場所にいる独居老人のような買物弱者と交通機関の関係については、議論する必要があるのか。
会長	グループ内で協議をしていただきたい。行政からの情報が必要な場合は保留にしてほしい。
委員	「河内地区から近隣の商業施設は、どこが良いのか。」という調査資料を見た。こういった全体的部分を個別的部分よりも優先して考えればいいのか。
会長	まず、全体的に関わるものを抽出し、全体的な課題が個別的な課題に関わるようであれば、個別的でも構わない。その部分も含めてグループ協議をしていただきたい。
事務局	市の施策である第5次総合計画等を参考資料として用意してある。今回の課題抽出は行政に何を望むかではなく、地域でできることを念頭において協議をしていただきたい。
会長	グループ協議の際には、サポート役に事務局職員が入り、私も各グループを回るので、質問等があれば声をかけていただきたい。

「地域まちづくりに関する施策の提案」についてのグループ協議を実施

会長	B・C・Aの順で発表をお願いします。
委員	<p>Bグループの発表をする。</p> <p>福祉の課題としては、「一人暮らし、高齢者への支援が乏しい」「地域の相互扶助が希薄化している」「高齢者や病弱者が入所できる施設が不足している」の3つ。健康の課題としては、「塩分の摂り過ぎ、食育に関する意識が低い」「健康維持をする地区、各スポーツ大会への参加率の低下」「地域の地産地消の展開がよく見えていない」の3つ。安全・安心の課題としては、「高齢者の日常生活の交通手段が不便」「災害・震災に対する意識が低い」「防犯に対する意識が低い」「交通ルールマナーが低い」の4つ。</p> <p>福祉の課題について説明する。</p> <p>「一人暮らし、高齢者への支援が乏しい」は、病院・買い物へ行く等の高齢者への支援が乏しい。</p> <p>「地域の相互扶助が希薄化している」は、自治会に加入していれば、回覧板等で連絡が取れるが、未加入でも生活はできてしまう。アパート等に入居し、自治会に加入しないと地域から孤立してしまう。</p> <p>「高齢者や病弱者が入所できる施設が不足している」は、入所できる施設が限られ、入所費も高い。いわゆる弱者に対する支援が大きな課題である。</p> <p>健康の課題について説明する。</p> <p>「塩分の摂り過ぎ、食育に関する意識が低い」は、高血圧から他の病気になる。</p> <p>「健康維持をする地区、各スポーツ大会への参加率の低下」は、「スポーツのまち」を合併前に宣言したが、体育祭の参加者が年々減少し、各種スポーツ大会</p>

	<p>参加率も低下している。</p> <p>「地域の地産地消の展開がよく見えていない」は、この地区の農作物がどのような形で消費者に流通し、どこで売られているのか分からない。美味しい物を食べて健康増進につながるのではないか。</p> <p>安全・安心の課題について説明する。</p> <p>「高齢者の日常生活の交通手段が不便」は、広い地域であるため、交通手段の確保が必要である。</p> <p>「災害・震災に対する意識が低い」は、避難場所は分かっているが、実際は避難せずに自宅待機者が多いのではないか。</p> <p>「防犯に対する意識が低い」は、警察署で防犯の呼びかけを行なっているが、防犯意識はあるのか分からない。</p> <p>「交通ルールマナーが低い」は、耳にイヤホンや携帯電話を片手に自転車走行をする姿が見受けられる。</p>
委員	<p>Cグループの発表をする。</p> <p>福祉の課題としては、「高齢者の増加に対応する施設の不足」「勤労者家族に対する援助施設の不足」「独居老人の数が多くなっている」「人、特に家族・高齢者を思いやる教育の不足」の4つ。健康の課題としては、「スポーツ施設は沢山あるが有効に活用されていない」「河内総合運動公園施設の利用法が課題である」「病院の数は多いが、高齢者向けの診療科不足」「健康診断の受診率が低い」「食生活における塩分・糖分の摂り過ぎ」の5つ。安全・安心の課題としては、「自転車の交通マナーの改善」「道路の安全施設が不完全である」「高齢者に対する思いやりのある交通道徳が少ない」「自治会の加入率が下がり地域の輪が崩れている」「地域消防団に対する理解者が不足している」の5つ。</p> <p>福祉の課題について説明する。</p> <p>「高齢者の増加に対応する施設の不足」は、高齢者の増加に対して医療施設が不足している。</p> <p>「勤労者家族に対する援助施設の不足」は、介護が必要な人に対して介護施設が不足している。</p> <p>「独居老人の数が多くなっている」は、高齢化が進み、独居老人が年々増加している。</p> <p>「人、特に家族・高齢者を思いやる教育が不足している」は、安らぎの場である家族の思いやりが不足している。</p> <p>健康の課題について説明する。</p> <p>「スポーツ施設は沢山あるが有効に活用されていない」は、施設は完備されているが、地元に対して配慮不足である。</p> <p>「河内総合運動公園施設の利用法が課題である」は、効率的に利用されていない。</p> <p>「病院の数は多いが、高齢者向けの診療科不足」は、高齢者に対しての専門医療機関が不足している。遠い医療機関への移動手段の問題もある。</p> <p>「健康診断の受診率が低い」は、受診者が少なく、受診率を上げていかなければならない。</p>

	<p>「食生活における塩分・糖分の摂り過ぎ」は、健康を維持するためにも、現在の食生活を改善していかなければならない。</p> <p>安全・安心の課題について説明する。</p> <p>「自転車の交通マナーの改善」は、自転車が進行方向を守らずに走行して危険であるため、交通マナーの遵守が必要である。</p> <p>「道路の安全施設が不完全である」は、一部の道路に危険箇所がある。</p> <p>「高齢者に対する思いやりのある交通道徳が少ない」は、老人会や自治会からの指導を徹底することが今後の課題だ。</p> <p>「自治会の加入率が下がり、地域の輪が崩れている」は、自治会未加入の住民は、自治会の輪に入れなくなってしまう懸念がある。</p> <p>「地域消防団に対する理解者が不足している」は、消防団員が少ないため、地域消防団に対する認識を高めて、より一層の安全を図る必要がある。</p>
委員	<p>Aグループの発表をする。</p> <p>福祉の課題としては、「福祉センターまでの巡回バスの路線が不十分」「地域の交流を深める工夫をする」「近隣に無関心・自治会加入者の低下」「交流の場が少ない」「ボランティア不足」の5つ。健康の課題としては、「体育施設が利用しにくい」「楽しめるスポーツが少ない」「気軽に参加できるスポーツが少ない」「健康のための料理教室が少ない」の4つ。安全・安心の課題としては、「災害に対する危機感がない」「主に自転車の交通マナーが守られていない」「交通が不便」「高齢者の足の確保が厳しい」の4つ。</p> <p>福祉の課題について説明する。</p> <p>「福祉センターまでの巡回バスの路線が不十分」は、移動手段の確保ができない。</p> <p>「地域の交流を深める工夫をする」は、孤立してしまう人が多いのではないかと。</p> <p>「近隣に無関心・自治会加入者の低下」は、煩わしい面があるためか、自治会への加入が低下している。</p> <p>「交流の場が少ない」は、昔よりお茶飲みをできる場所が減ってきている。近隣との関係も希薄であり、厳しい世の中になっている。</p> <p>「ボランティア不足」は、ボランティアをする側の人手不足もあるが、ボランティアをしてもらう側にも寛容さが足りないのではないかと。</p> <p>健康の課題について説明する。</p> <p>「体育施設が利用しにくい」は、金銭面や手続き方法等が問題になり、わがまちなのに利用しにくい。</p> <p>「楽しめるスポーツが少ない」「気軽に参加できるスポーツが少ない」は、ラジオ体操や太極拳等、気軽に楽しめるサークル的な場をさらに増やしたい。</p> <p>「健康のための料理教室が少ない」は、塩分・糖分を控える料理教室を実施してほしい。</p> <p>安全・安心の課題について説明する。</p> <p>「災害に対する危機感がない」は、常に危機感を持つことが大事である。</p> <p>「主に自転車の交通マナーが守られていない」は、無灯火等の違反を無くし、交通マナーの遵守が必要である。</p> <p>「交通が不便」は、地域によって差があるが、早急に地域内交通が発足できればと思う。</p>

	「高齢者の足の確保が厳しい」は、高齢者の移動手段をどう確保するかが課題である。交流の場が少ないと言われているが、弱者に対して私たちの心がけがあれば良いのではないか。
会 長	追加の意見はないか。
委 員	人口のデータを元にグラフを作成した。河内地区は、高齢者と小・中学生の人口が他の地区と比較すると多い。親子参加型のイベントを実施すれば、高齢者を支えるための鍵になるのではないか。
会 長	<p>今後、課題を明らかにしたうえで、目標設定や具体的方策を考えていただく。今回のテーマ「福祉、健康、安全・安心」は、国の領域でもあり、地域住民が解決策を講じるのが難しく制限されてしまうという前提もある。だからと言って、今後の活動に影響を与えるものではない。</p> <p>協議のなかで福祉に関しては、高齢化社会の課題が中心だった。健康に関しては、快適・生活空間の課題が出てきた。安全・安心に関しては、マナー・モラル・便宜・向上の課題が出された。国では、子供達の消費者教育の向上に努め、モラルの問題に関する政策をしている。それらを念頭に置き、地域でどのようなことができるか。例えば、地域でマナーを守る制限を出せるようなまちに持っていけるかどうかである。</p> <p>今回の意見については、副会長と整理して次回の会議で提示する。それをもとに地域の「目標の設定」について協議していただく。</p>

(3) その他

- ・ 次回の開催日程について、河内地域自治センターで開催し、日程等の詳細は後日連絡。

(4) 閉会